

令和6年度みきっ子未来応援協議会 家庭・地域・学校教育部会 次第

日時 令和7年2月17日(月)

場所 三木市教育センター4階大研修室

1 開会あいさつ

2 部会長、副部会長紹介

3 委員自己紹介

4 協議事項 「家庭・地域・学校が一体となった人づくりに関すること」

(1) 事例及び現状

- ・ 地域と学校の連携・協働体制推進事業について
- ・ 青少年の健全育成に係る取組状況について
- ・ 子どもたちのウェルビーイングについて

(2) 家庭、地域、学校の連携について

5 その他

6 閉会あいさつ

令和 7 年 2 月 17 日

令和 6 年度「地域と学校の連携・協働体制推進事業」について

1 事業の所管課

三木市教育委員会事務局 教育総務部 生涯学習課

2 事業の趣旨、概要

近年、子どもを取り巻く環境が大きく変化しており、未来を担う子どもたちを健やかに育むためには、地域住民等と学校がそれぞれの役割と責任を自覚し、連携・協働を図る体制づくりを進める必要がある。

そのため、地域と学校が連携・協働して、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支えていく活動（＝「地域学校協働活動」）を推進する。

三木市においては、生涯学習課に統括コーディネーターを配置し、地域住民の方や豊富な社会経験を持つ方の協力を得て、学校のニーズに応じた教育支援活動を主に実施している。

対象校は、市内の小学校 13 校、中学校 6 校、特別支援学校 1 校の 20 校で、学習支援（昔遊び教室、書道教室等）、学校環境整備支援（花壇の植栽、図書館ボランティア等）を行い、本年度は現時点で 12 校において約 110 名の地域住民のボランティアの方に指導者としてご協力をいただいている。

3 「自由っ子未来塾」及び「おかたづけのお部屋」について

「地域と学校の連携・協働体制推進事業」は、上記の学校ごとの教育支援活動に加え、夏休み期間中に三木市自由が丘公民館において「自由っ子未来塾」を、三木市青山公民館において「おかたづけのお部屋」を開催し、自主学習や夏休みの宿題について、児童・生徒の学習支援を行った。

4 本年度の動き

ここ数年、コミュニティ・スクールの導入もきっかけとなり、地域と学校の協働活動が少しずつではあるが増加している傾向である。

今後も引き続き、地域と学校の協働活動を通して、地域全体で子どもたちの育ちを支援していく。

三木市青少年センター事業説明資料

令和7年2月17日

1 青少年センターが取り組む青少年の健全育成に係る事業

(1) 児童・生徒等の見守り活動

- ・ 「人の目の垣根隊」会員が、小学校区毎に登下校、放課後等の見守り活動実施
- ・ 活動時、会員による「あいさつ運動」や「安全指導」の実践
- ・ 小学校区ごとに「人の目の垣根隊意見交換会」を実施し、会員の思いや要望を聞き、今後の見守り活動ならびに安全対策に反映

(2) インターネット利用における加害や被害防止に向けた「ネット見守り隊」事業

- ・ 特別監視員がオンラインゲームやX(旧ツイッター)、インスタグラム、フェイスブック、動画サイト等の検索を随時行い、青少年センターが報告を受けた事案に関しては、学校教育課に報告・相談の上、関係小・中学校と連携して児童生徒に適切な指導
- ・ 青少年のネット利用状況を知ることにより、流行や動向の把握

(3) 関係機関との連携

- ・ 学校・警察・事業者連絡会で情報交換（年2回）
- ・ 中播地区高等学校生徒指導協議会で情報交換（年3回）

(4) 青少年健全育成ポスターの制作と配布

- ・ 市内小・中学生に夏季休業中、ポスター作成を依頼し、優秀作品2点をポスターにまとめ、10月に、市内各小・中・特別支援学校、公共施設、大型量販店等に配布・掲示依頼

2 青少年センターと補導委員会が協働して取り組む青少年の健全育成に係る事業

(1) 青少年の非行防止、健全育成に向けた補導活動

- ・ 各地域における班活動として、地域巡回補導活動の実施（原則月2回以上の深夜補導）
- ・ 北播磨全域の青少年補導委員が統一活動として街頭補導活動の実施（年2回）
- ・ 役員と各班員が協働した深夜補導活動の実施（年4回）
- ・ 大宮八幡宮や岩壺神社、戎神社の祭礼や、二十歳の祝典等での補導活動の実施

(2) 青少年健全育成啓発活動

- ・ 小・中学校PTA役員や更生保護女性会の協力を得て、大型量販店舗内の巡回や店頭での啓発を兼ねた「PTAパトロール」の実施
- ・ 三木防犯協会と協働した青少年健全育成への啓発活動の実施
- ・ 青色パトロール車による下校中の児童生徒の見守り巡回活動の実施
- ・ 市内に8ヶ所設置した白ポストに投函された青少年に有害な図書類を、11班（小学校PTA班）とともに回収
- ・ 北播磨県民局と協働した青少年への有害環境実態調査の実施

令和 6 年度

人の目の垣根隊会員

R 7. 1 .30現在

No.	校区	会員数	平均年齢	新規	退会
1	三樹小学校	70	73	3	3
2	平田小学校	13	75	2	
3	三木小学校	22	70	4	
4	別所小学校	26	69		2
5	志染小学校	13	71		
6	口吉川小学校	19	69	1	
7	豊地小学校	3	74		
8	緑が丘小学校	33	74		
9	緑が丘東小学校	29	75	2	1
10	自由が丘小学校	30	75	1	2
11	自由が丘東小学校	22	81	11	3
12	広野小学校	48	58	20	18
13	吉川小学校	52	66		3
14	校区外	12	63		
	合計	392	70	44	32

家庭における子どもたちの ウェルビーイング

ウェルビーイングとは

日本社会に根差した
ウェルビーイングの向上

- 身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念。
- 多様な個人がそれぞれ幸せや生きがいを感じるとともに、個人を取り巻く場や地域、社会が幸せや豊かさを感じられる良い状態にあることも含む包括的な概念。



Well-being

良好な 状態

身体的



心理的



Happiness

感情としての
幸福

社会的



なぜWell being？



GDPだけでは、
人々の生活の豊かさ・身体と心の幸福度まで
測ることは難しい…

子どもを真ん中に考えて



三木市のめざす学校教育



全ての子どもが今を幸せに感じる学校づくり

未来を生き抜くための3つの大切な力

主体性

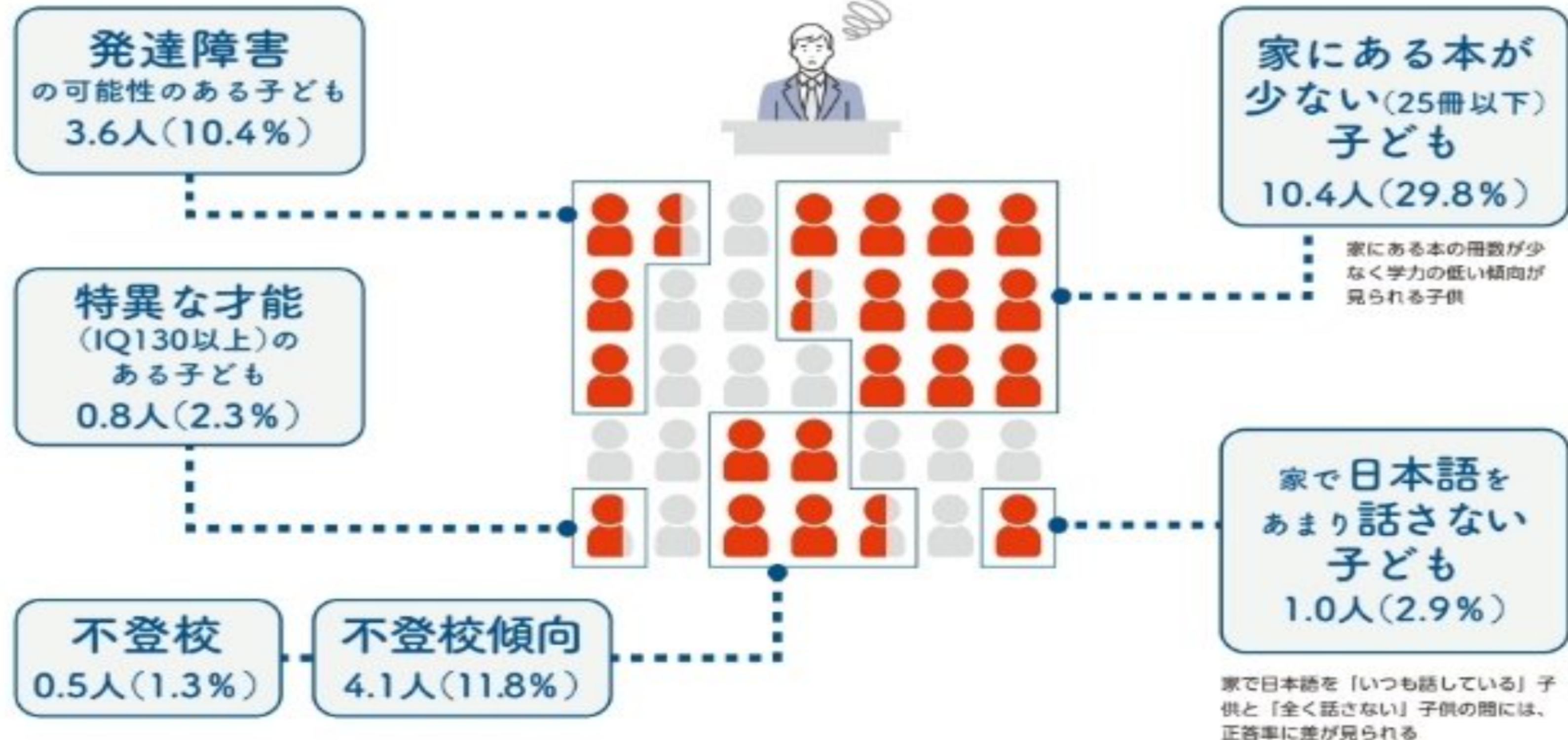
協働性

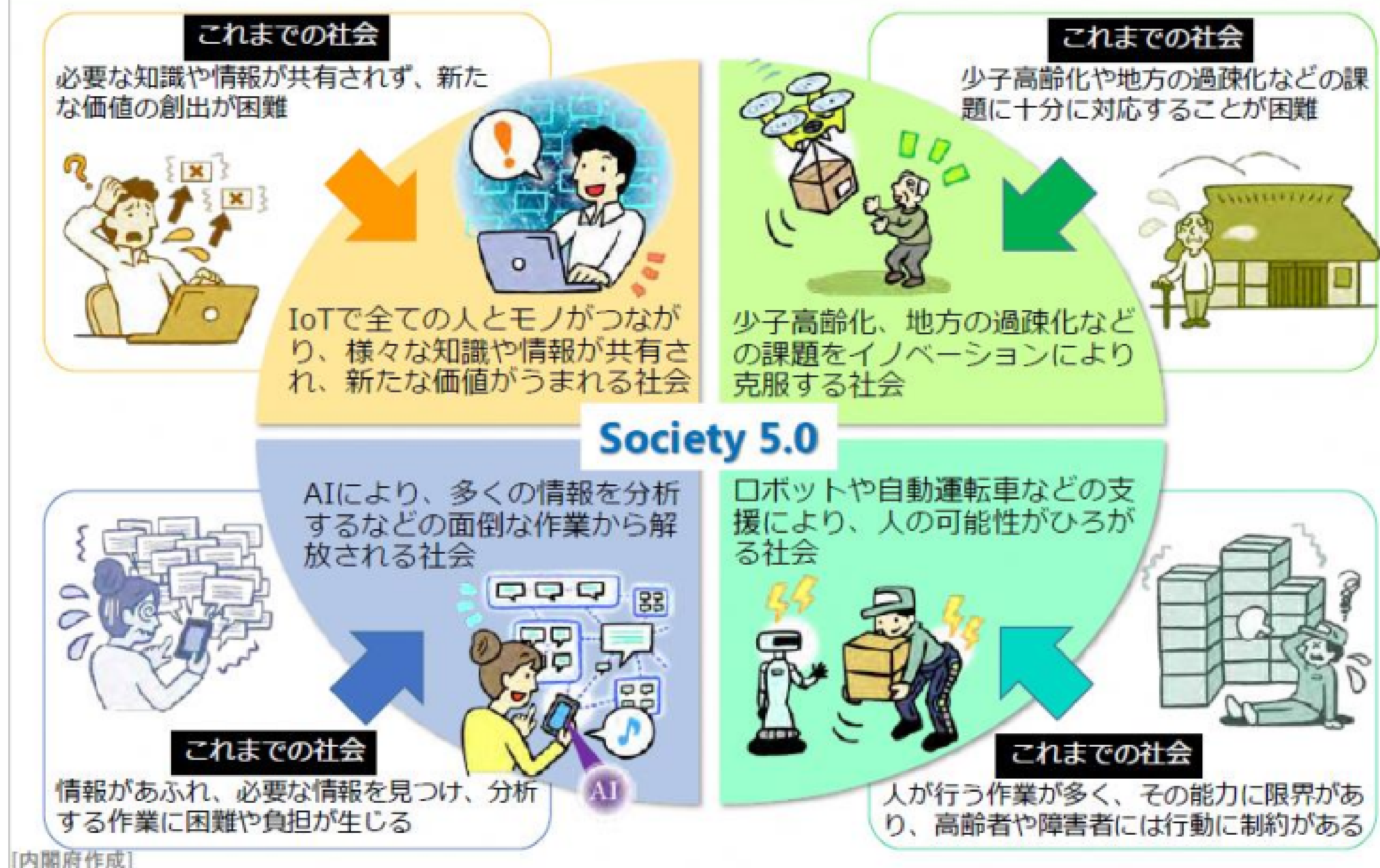
創造力

教室には多様な子どもが集まっています

子どもの多様化が進んでおり、下記のように数字として表れる子ども以外にも、授業の理解度に差があったり、学びやすい方法もそれぞれ違ったりと、子どもはみんな違います。

小学校 35人学級の場合
(全国値)





社会構造の変化→求められる力の変化

A photograph of a classroom scene. In the foreground, a boy and a girl are looking at a laptop screen. Behind them, another boy is smiling. To the right, a girl is looking at a book. In the background, another student is visible near a bookshelf. The text 'これからの時代の新しい学びのカタチ' is overlaid in the center.

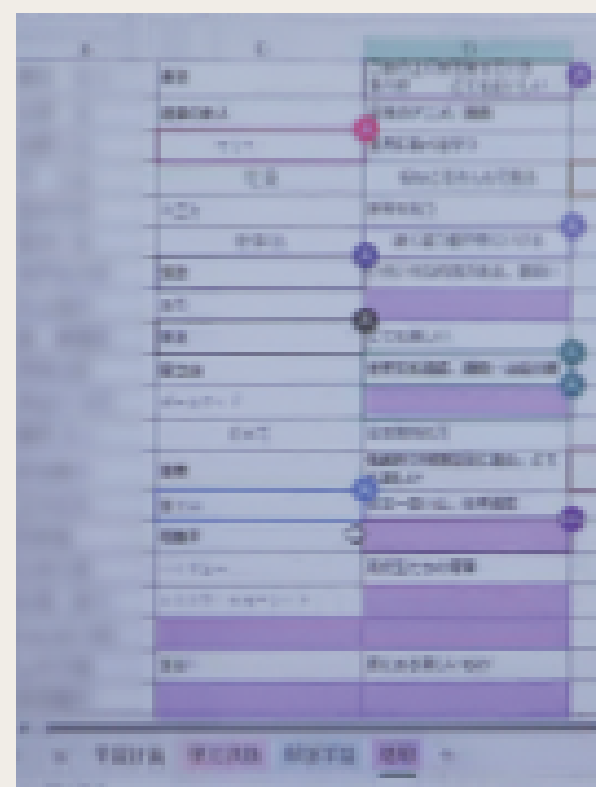
これからの時代の 新しい学びのカタチ

問 (市)学校教育課 学校指導係

「ICTを活用した「協働的な学び」」

「協働的な学び」とは、学習者が目的意識を持って話し合いなどを重ねる中で、学びを深め、自己の課題を解決していく学びの過程のことです。従来であれば同じ場所に多くの生徒を集めて実施する必要がありました。が、ICT環境の整備が進んだことで、手元のタブレットで周囲の意見

を確認できるなど、効率性の高い協働学習ができるようになりました。生徒が協力しながら一つのテーマと向き合うので、従来の受動的な授業では養うことが難しかった、問題解決能力やコミュニケーション能力、発想力を培いながら成功体験を重ねることができます。



▲生徒が入力した考えはクラス内で共有され、お互いの意見を参照できる



▲周囲と考えを共有しながら、自分の意見にさらに磨きをかけていく



先生の声

生徒の声を聞き、
どうすれば良いかを一緒に考える

自由が丘中学校
長田 江里 先生

担当する授業では、生徒がそれぞれの考えをタブレットに入力し、生徒は一覧から他者の意見を参照したり、質問したりしています。

また、進捗状況をタブレットで確認できるため、サポートが必要な生徒をより見つけやすくなりました。

学習中の生徒は、一人で考える場面では自分の考えをまとめ、共有する場面では似た意見や興味のある意見を持つ子に質問するなど、進んで学習に取り組む姿が見られます。

自由進度学習

「自由進度学習」とは、子どもが自分のペースで進める学びのことで、す。一定の約束事の下で、子ども自身がオリジナルの学習計画を立て、さまざまな教材を使ったり、実験などの活動をしたりしながら、自力で学びを進めていきます。

学校の授業では、特定の単元での学習方法として、自由進度学習が行われることがあります。

学びの過程で、友達と協力し合い、互いに刺激を受けながら深く学ぶことをめざす中で、自分の得意なところは早く進め、苦手なところは時間をかけてじっくり学ぶので、より効

率的に学習を進めることができます。



▲授業中にさまざまな学習形態が同時に進行する自由進度学習の様子

先生の声

「子ども主体の学び」を創るために

緑が丘東小学校
阿部 直 先生



本校では、「自由進度学習」を「マイペーススタディ (MPS)」と呼んでいます。これは子どもたちへのアンケートをもとに付けたものです。

単元計画を作る際は、子どもたちが、自分のために自分にあった「学習方法」「ペース」「学習場所」「学習課程」を選択できるようにしています。

また、うまくできないこと、分からないことなどについては、友達に聞く姿も見受けられ、協働的な学びにもつながっていると感じています。

三木市内の6中学校の生徒会が集まり、学校行事や校則等について意見交換をしました。



各中学校で、まとめたものを発表しました。2学期から取り組んでいきましょう。

三木市のめざす学校教育



全ての子どもが今を幸せに感じる学校づくり

未来を生き抜くための3つの大切な力

主体性

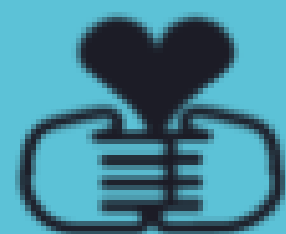
協働性

創造力

「子どもの権利条約」一般原則

生命、生存及び 発達に対する権利

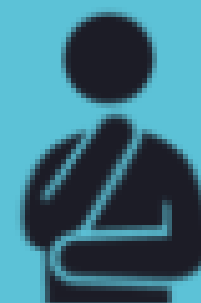
命を守られ
成長できる
ように



保障される支援

医療 教育 生活

児童に対する措置の原則



子どもにとって
最もよいことって
なんだろう？

意見表明の機会

子どもが自由に意見を表明



おとなはその意見を子どもの
発達に応じて十分に考慮します

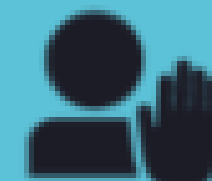
差別の禁止

性

どんな理由でも
差別されない

人種や
国籍

経済
状況



障害

意見

家庭における子どもたちの ウェルビーイングについて

Well-being

良好な 状態

身体的



心理的



社会的

